



DHCP サブネットの設定

この章では、サブネットを DHCP サーバに追加する手順について説明します。

サブネットを検索して DHCP サーバに追加する手順は、次のとおりです。

- [DHCP サブネットの検索 \(P.11-1\)](#)
- [DHCP サブネットの設定 \(P.11-3\)](#)
- [DHCP サブネットの削除 \(P.11-5\)](#)
- [DHCP サブネットの設定値 \(P.11-4\)](#)

DHCP サブネットの検索

DHCP サブネットを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

ブラウザセッションでの作業中は、検索 / リストの検索設定がクライアントマシンの cookie に保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合や、ブラウザを閉じてから再び新しくブラウザウィンドウを開いた場合でも、検索に変更を加えない限り、Cisco Unified CallManager の検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [システム] > [DHCP] > [DHCP サブネット] の順に選択します。

[DHCP サブネットの検索と一覧表示 (Find and List DHCP Subnets)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウンリストボックスを使用して、サーバを検索します。

ステップ 2 最初の [検索対象: DHCP サブネット、検索条件:] ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [DHCP サーバ]
- [サブネット IP アドレス]
- [プライマリ開始 IP アドレス]
- [プライマリ終了 IP アドレス]

- [セカンダリ開始 IP アドレス]
- [セカンダリ終了 IP アドレス]

2 番目の [検索対象: DHCP サブネット、検索条件:] ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**[検索]** をクリックします。

**ヒント**

データベースに登録されている DHCP サブネットをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **[検索]** をクリックします。

検出されたサブネットのリストが、次の項目別に表示されます。

- [DHCP サーバ]
- [サブネット IP アドレス]
- [プライマリ開始 IP アドレス]
- [プライマリ終了 IP アドレス]
- [セカンダリ開始 IP アドレス]
- [セカンダリ終了 IP アドレス]

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致する DHCP サブネット名をクリックします。

選択したサブネットがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.11-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

DHCP サブネットの設定

Cisco Unified CallManager データベースに DHCP サブネット アドレスを追加、更新、およびコピーする手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [システム] > [DHCP] > [DHCP サブネット] の順に選択します。

ステップ 2 次の作業のいずれかを実行します。

- DHCP サブネットを追加するには、[新規追加] をクリックします。
- サブネットを更新するには、P.11-1 の「[DHCP サブネットの検索](#)」の手順を使用してサブネットを検索します。
- サブネットをコピーするには、P.11-1 の「[DHCP サブネットの検索](#)」の手順を使用してサブネットを検索し、DHCP サーバ名の横にあるチェックボックスをオンにしてサーバを選択し、[コピー] をクリックします。

[DHCP サブネットの設定 (DHCP Subnet Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 11-1 を参照)。

ステップ 4 ウィンドウ左上のツールバーに表示されている [保存] アイコンをクリックして (または、ウィンドウの一番下に表示されている [保存] ボタンをクリックして)、データを保存し、サブネットをデータベースに追加します。

サーバ設定の変更を有効にするには、Cisco Unified CallManager を再起動します。Cisco CallManager サービスの再起動については、『[Cisco Unified CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。

追加情報

P.11-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

DHCP サブネットの設定値

表 11-1 では、サブネットの設定値について説明します。関連する手順については、P.11-6 の「関連項目」を参照してください。

表 11-1 DHCP サブネットの設定値

[DHCP サブネット情報 (DHCP Subnet Information) のフィールド]	説明
[DHCP サーバ (DHCP Server)]	DHCP サーバ名をドロップダウン リスト ボックスから選択します。
[サブネット IP アドレス (Subnet IP Address)]	サブネットの IP アドレスを入力します。
[プライマリ開始 IP アドレス (Primary Start IP Address)]	割り当てる最初の IP アドレス範囲の開始 IP アドレスを入力します。
[プライマリ終了 IP アドレス (Primary End IP Address)]	割り当てる最初の IP アドレス範囲の終了 IP アドレスを入力します。
[セカンダリ開始 IP アドレス (Secondary Start IP Address)]	割り当てる 2 番目の IP アドレス範囲の開始 IP アドレスを入力します。
[セカンダリ終了 IP アドレス (Secondary End IP Address)]	割り当てる 2 番目の IP アドレス範囲の終了 IP アドレスを入力します。
[プライマリルータ IP アドレス (Primary Router IP Address)]	サブネットのプライマリ ルータの IP アドレスを入力します。
[セカンダリルータ IP アドレス (Secondary Router IP Address)]	サブネットのセカンダリ ルータの IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク (Subnet Mask)]	サブネット マスクを入力します。
[ドメイン名 (Domain Name)]	このフィールドには、ドメイン ネーム システムを通じてホスト名を解決するとき使用する名前を指定します。
[プライマリ DNS IP アドレス (Primary DNS IP Address)]	このフィールドには、プライマリ DNS IP サーバ名を指定します。
[セカンダリ DNS IP アドレス (Secondary DNS IP Address)]	このフィールドには、セカンダリ DNS IP サーバ名を指定します。
[TFTP サーバ名 (TFTP Server Name、オプション 66)]	このフィールドは、TFTP サーバを指定するために使用します。このパラメータに設定できるのは、DNS 名またはドット付き 10 進 IP アドレス 1 つのみです。
[プライマリ TFTP サーバ IP アドレス (Primary TFTP Server IP Address、オプション 150)]	このフィールドには、プライマリ Trivial File Transfer Protocol (TFTP) サーバの IP アドレスを指定します。
[セカンダリ TFTP サーバ IP アドレス (Secondary TFTP Server IP Address、オプション 150)]	このフィールドには、セカンダリ TFTP サーバの IP アドレスを指定します。
[ブートストラップサーバ IP アドレス (Bootstrap Server IP Address)]	このフィールドには、ブートストラップ プロセスの次のステップで使用されるサーバのアドレスを指定します。このフィールドは、TFTP サーバの IP アドレスとして使用することができます。また、次のブートストラップ サービスを DHCP サーバが提供する場合は、DHCP サーバアドレスのデフォルト値として使用することもできます。

表 11-1 DHCP サブネットの設定値 (続き)

[DHCP サブネット情報 (DHCP Subnet Information) のフィールド]	説明
[ARP キャッシュタイムアウト (ARP Cache Timeout、秒)]	このフィールドには、ARP キャッシュ エントリのタイムアウトを秒単位で指定します。期間を 32 ビットの符号なし整数で指定します。
[IP アドレスリースタイム (IP Address Lease Time、秒)]	DHCP サーバは、このフィールドにある情報を使用してオフアーのリース期間を指定します。期間を秒単位の 32 ビット符号なし整数で指定します。
[リニューアル (T1) タイム (Renewal(T1) Time、秒)]	このフィールドには、アドレス割り当ての時点から、クライアントが RENEWING 状態に遷移するまでの時間間隔を指定します。
[再バインディング (T2) タイム (Rebinding(T2) Time、秒)]	このフィールドには、アドレス割り当ての時点から、クライアントが REBUILDING 状態に遷移するまでの時間間隔を指定します。値を秒単位の 32 ビット符号なし整数で指定します。

DHCP サブネットの削除

DHCP サブネットを Cisco Unified CallManager データベースから削除する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** P.11-1 の「[DHCP サブネットの検索](#)」の手順を使用して、DHCP サブネットを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する DHCP サブネットを選択します。
- ステップ 3** ウィンドウ左上のツールバーに表示されている **[選択項目の削除]** アイコンをクリックして (または、ウィンドウの一番下に表示されている **[選択項目の削除]** ボタンをクリックして)、サブネットを削除します。

Cisco Unified CallManager は、サブネットが使用中でない場合、そのサブネットを削除します。サブネットが使用中である場合は、メッセージが表示されます。



- (注)** 該当するサーバの横にあるチェックボックスをオンにして **[選択項目の削除]** をクリックすると、**[DHCP サブネットの検索と一覧表示 (Find and List DHCP Subnets)]** ウィンドウから複数の DHCP サーバを削除できます。**[すべてを選択]** をクリックして **[選択項目の削除]** をクリックすると、ウィンドウ内のすべてのサーバを削除できます。

追加情報

P.11-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [DHCP サブネットの検索 \(P.11-1\)](#)
- [DHCP サブネットの設定 \(P.11-3\)](#)
- [DHCP サブネットの削除 \(P.11-5\)](#)
- [DHCP サブネットの設定値 \(P.11-4\)](#)
- [DHCP サーバの設定 \(P.10-1\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「ダイナミック ホスト コンフィギュレーションプロトコル (DHCP)」